

令和元年度 環境教育体験学習 ー身近な自然と生き物ー

ECOKA委員会

概要：鹿ノ台周辺緑地は、ECOKA委員会による里山の整備が進み、鹿ノ台校区の良好な自然環境教育の野外活動の場として、地域住民にも広く認知されるようになってきた。地球環境から日常生活まで、今起きている世界の環境変化（異常気象）を座学と里山観察を通して、植物と動物との深い関係性（二酸化炭素と酸素の循環）を説明した。生徒が感覚的に森林（みどり）の大切さを理解し、人と自然とのつながり（論理的な支えあい）を5感で体験し、温暖化抑制への関心を深めてもらうと幸いである。学校では「地球とエネルギー、身近な自然と生き物、資源とゴミ、食べ物と水」について、数時間にわたる事前学習の成果を発揮、一歩進んだ生徒たちの成長に感動した。以下、写真にまとめて報告書とする。

参加人数：鹿ノ台小学校5年生他 119名

実施日：令和2年1月27日（月）

実施団体：ECOKA委員会

